

槍ヶ岳 飛騨沢 山スキー

2014年5月3日(土)～4日(日)

メンバー：池田T

以前から考えていた計画、飛騨沢のスキー滑降を実現できた。
飛騨沢は上部がアイスバーンで怖かったが、標高2,700mあたりから下は適度なザラメ雪で 快適な滑りを楽しめた。
槍ヶ岳の山頂にも8年ぶりに立つことが出来て充実した山行となった。

5/3(土) 晴れ のち雨 のち晴れ

新穂高の登山者用駐車場は半分以上埋まっていた。時間帯によっては満車になるかもしれない。登山指導所はこの4月にオープンした「新穂高センター」に併設されていた。ここで登山届けを提出。山岳警備隊の方から安全登山のPRグッズ（ちょっとした小袋）を頂いた。



右俣林道は白出沢出合の終点まで除雪されていた

林道終点から小屋までの間、巨大なデブリを2回ほど乗り越えた。



滝谷方面の眺め



槍平小屋。1階はほぼ雪に埋もれている



テントは全部で20張ほど。2008年1月の雪崩事故の教訓であろう。皆、小屋の北側に張っていた



冬季小屋。中はキレイだが暗くて寒い。それに加えて・・

今回は単独スキー山行で極力軽量化したかったのでテントはやめて冬季小屋に入った。時間が早かったためか、小屋の中には誰もいなかった。やがて男性が、少し後には女性が入ってきた。男性は名古屋から来た山スキーヤーHさん、女性は神奈川である山岳会の事務局をやっているMさん、それぞれ単独だった。3人程度なら広々使えてラッキーと思っていたら震度3程度の地震が発生。しかも断続的に何回も揺れが来た。屋根には積雪が2m近く載っているので大きな揺れが来たら小屋が潰れるのでは？と危惧した。それに飛驒沢の雪崩も心配である。もしも明日になっても治まらなかつたら撤退しようと考えた。

槍平小屋（営業していないが開所の準備中）の人がやってきて「久々の群発地震だ。小屋はたぶん大丈夫とは思いますが、万一のことを考えると泊まるのはあまりお勧めしない」と言う。そこでHさんが外に出てツェルトを張る準備を始めるとMさんが「私のツェルトは大きめだから3人寝れる。小屋の中より安心だし寄って寝れば暖かいと思うので、一緒にどうですか？」と言う。断る理由は特に無く、今日初めて会った3人が協力してツェルトを張って中で寝た。

<タイム>

新穂高6:40－穂高平避難小屋7:33－白出沢8:25－滝谷出合9:53－槍平小屋10:50

5/4(土) 晴れ

群発地震は治まったようだ。夜に地震は来なかった。予定通り槍ヶ岳に向けて出発する。Mさん、自分、Hさんの順でスタート。それぞれのペースで歩き始めた。Mさんは自分より年上なのだがペースが速い。どんどん離されてやがて見えなくなってしまった。一方でHさんはかなりのスローペース、というか一眼レフカメラで写真を撮りながらゆっくり歩いている。

まだ陽が当たっていない雪面は固く、斜度がキツなってくるとシールが効かない。スキーアイゼンを着けてしばらく歩いたが、時々ズルッとくる。のっぺりした斜面が延々続く所なので、万一滑落したら何百mも停まらないと考え、標高2200mあたりでスキーは背負った。山スキーヤーは他にも沢山いたが、乗越までスキーを履いたまま登った人は見なかった。



標高2750mあたり。飛騨乗越までもう少し

飛騨乗越に着いてホッと一息。小休止の後、スキーは背負ったまま槍ヶ岳山荘に向かう。



小屋からの穂先の眺め。何人も人が登っていた



槍沢からも人が沢山登ってくる

小屋から穂先を見ると中間部の雪壁で苦勞している人が見えた。登るのはともかく、下るのが怖そうなので頂上アタックを迷ったが、初心者っぽい人も小屋から穂先に向けて出発している。「自分も行けるはずだ」と奮い立たせて出発した。



登る人と下る人がすれ違える場所は限られる



ついに山頂へ。積雪期は初めて



槍ヶ岳山荘を見下ろす



北鎌尾根。トレースは見当たらなかった

登りよりも慎重に穂先を下った。次から次へと人が登ってくるのですれ違いで渋滞した。小屋に戻ってデポしたザックとスキーを背負って飛騨乗越へ。いよいよ滑降である。ところが雪面は未だにアイスバーンである。転倒は滑落に直結する。斜滑降でゆっくり高度を落としていく。



標高2700mあたりでアイスバーンから解放された。滑った斜面を振り返る

標高2700mあたりから下は適度な抵抗があるザラメ雪。安心して滑りを楽しむことが出来た。乗越から小屋までの間、飛騨沢の本流に雪崩跡は無く、非常に快適であった。



正面は笠ヶ岳

槍平小屋から飛騨乗越まで登るのに3時間半かったが、下りは20分程度であった。登りで離されたMさんを途中で抜いた。やはりスキーは速い。

小屋にデポした荷物を回収して下山に取りかかる。軽量化したおかげで全て背負っても滑降に影響は

無かった。



新緑も近いかな？

林道上には地震の揺れで落ちてきたとみられる岩がいくつか落ちていた。



昨日の地震の震源は槍平だったらしい・・・

<タイム> 槍平小屋4:40 – 飛騨乗越8:10 – 槍ヶ岳山荘8:27～8:47 – 槍ヶ岳山頂9:15～

9:25 - 槍ヶ岳山荘10:07~10:18 - 飛騨乗越10:30~10:47 - 槍平小屋11:11~11:47 - 新穂高15:00



行動時間は2日間で15時間40分であった。林道に雪があればもっと時間を詰める事が出来て日帰りも可能かもしれない。

以上